



--令和 5 年 6 月 25 日(日)--

胆振東部地震の教訓を生かせ 栄小で避難所運営訓練



栄東連合町内会は、この日、栄小学校で地域住民自ら避難所を開設し、避難者を受け入れる実戦さながらの訓練を実施しました。これは、万が一の時にも地域が主体的に避難所を開き、円滑な運営ができるようにすることを目的に実施したものです。

訓練は、栄東地区も震度 6 弱の地震に見舞われた想定で訓練通報から開始しました。まず、栄小学校周辺の連合町内会第 3 分区の町内会役員と消防団員の合計 39 名が集合し、受付班、備蓄物資班、避難スペース班に分かれて設営を開始しました。

続いて、連合町内会他分区の避難者 60 名余りの受け入れを行いました。各班ともに円滑に受付、誘導、セッティングを行い、避難の完了です。避難所に落ち着いてからは、2つのグループに分けて、体育館では避難スペースの広さ、備蓄物資の寝袋や毛布の実物の確認、備蓄物資の運搬時の重さの体感と、校舎内に配置されたトイレや高齢者、障がい者、妊産婦などの避難スペース、採暖室、受水槽などの説明を受けて避難生活の大変さを実感していただきました。

主催した栄東連合町内会の中谷暁生・防火防犯部長は、「訓練は繰り返し重要で、練度を挙げて、どのような災害にも対応力を高め、安全安心に暮らせるまちを目指していきたい」と話されていました。訓練参加の皆様お疲れさまでした。



--令和 5 年 7 月 13 日(木)--

シャボン玉を追う笑顔がはじける ひのまるちびっ子なつまつり

この日、ひのまる公園で「第 16 回ひのまるちびっ子なつまつり」が開催されました。会場には、定番の「ヨーヨーコーナー」、手作りの金魚の折り紙を釣る「金魚釣りコーナー」、シャボン玉が景品の「的当てコーナー」、今年初登場の「輪投げコーナー」などが並びます。中でも「バブルマシーン」が大人気で、時間中フル回転です。会場を舞うシャボン玉を追いかけながら、子どもたちの笑顔がはじけていました。会場には、子ども・保護者・スタッフ合わせて 346 人

が集まり、スタッフ一同、子どもたちの笑顔に準備の苦労も吹き飛び、来年はさらに充実したイベントにしたいと思いを新たにしました。



--令和5年7月11日(火)--

ラベンダーに囲まれ交流 連町女性部研修会



この日、栄東地区内の単位町内会の女性部長などが参加したバスツアーが開催されました。

今回の訪問先は、芦別市の「大橋さくらんぼ園」と中富良野町の「ファーム富田」です。参加者24名は、さくらんぼ園に到着後、たわわに実った甘さたっぷりのさくらんぼを頬張り、ご満悦です。

続いて「ファーム富田」では、一面に咲き誇るラベンダーが見頃です。1.2ヘクタールもある広大な

庭園を散策しました。園内には、紫色のグラデーションが広がる「倅の畑」や紫のラベンダー、白のカスミソウ、赤のポピー、ピンクのコマチソウ、オレンジのカリフォルニアポピーなど七色の花々が彩る「彩の畑」など今満開の花畑を巡りながら、心地よい汗を流しました。

お昼には、園内の軽食コーナーを利用し、ラベンダーの香りに囲まれながら持参したおにぎりや軽食をとりながら、日ごろの町内会活動などの情報交換にも花を咲かせました。

今、ポストコロナをむかえて地区内の町内会では様々な活動が復活しつつあります。こうした気軽な交流で参加者の絆を深め、きっと今後の地域活動の活性化に繋がっていくことでしょう。



--令和5年7月20日(木)--

つどいむで熱戦 栄東連合町内会パークゴルフ大会



▲一打一打に魂を込めて競技に臨むプレイヤーの皆さん

この日、つどいむのパークゴルフ場で、第20回パークゴルフ大会が開催されました。当日は、40名が参加し、午前8時前には各グループがショットガン方式で、一斉にスタートしました。

日中は体感気温が30度を超える暑さの中でしたが、熱戦が繰り広げられました。女性の部では、野長瀬まいさん(栄町町内会)が優勝、杉山良子さ

ん(栄町町内会)が準優勝、男性の部では、若狭昭彦さん(東園町内会)が優勝、平野清さん(栄町町内会)が準優勝を飾りました。

この大会は、新型コロナの影響で令和2年、3年度は中止し、昨年から再開しています。高齢者が増える中、パークゴルフは手軽に健康づくりに取り組めるスポーツであることから、今後も工夫しながら継続的に開催をしていく予定です。



▲表彰式で手作りのメダルと賞品を受け取る優勝者と準優勝者の方々